

風景は時を越えて継承する：
水路を軸とした景観に家並や生垣などが自然と風情を重ね合わせている



撮影：2010年4月（山口県萩市）

◆生活に取り込まれている藍場川

萩の骨格河川である松本川から水を引き込み、まちの中心を縫うように流れる藍場川は、江戸時代から昭和初期までは生活用水として使われました。制御された水の流れからは山水都市の表情が伝わり、萩の風情を伝える景観資源として、家々の庭先の一部のように維持している様子がうかがえます。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）